

優秀賞 感謝の気持ちを忘れずに

大和郡山市立矢田小学校 5年 藤森 美花

「いただきまーす」

わたしの大好きな食事の時間の始まりです。お肉やお魚、野菜や果物など、いろいろな料理が毎日、テーブルをにぎやかにしてくれます。そして、さらに幸せな時間となるのは、家族でお話しながら食べることです。

その日にあったことなど、家族が話します。笑ったり、おどろいたり、たくさんの会話で食事の時間が明るくなります。

学校の給食で、おいしかったおかずの話をして

「また食べたいな。」

と話してみると、お母さんが作ってみてくれることもあります。わたしは、幸せな気持ちになります。

ある日、料理は、テーブルに用意されているけれど、お母さんとおばあちゃんのすがたがありませんでした。体調をくずして、食事の用意をした後、横になっていたからです。

料理は、おいしいけれど、いつもの食事の時間とは違って、暗かったです。

その時、しんどいのに、家族のためにがんばって作ってくれたことを思うと、むねがいっぱいになりました。同時に、感謝の気持ちが、わきあがってきました。

毎日、食べている料理は、だれかが作ってくれています。そして、料理に必要な食物もだれかが、大切に育ててくれた物です。食には、必ず、だれかが関わっています。

毎日、感謝の気持ちを忘れないようにしなければならぬと思いました。

今日は、お母さんもおばあちゃんも元気になって、家族みんなで、テーブルの前に座っています。

今度は、お手伝いをして、お母さんといっしょに、学校の給食で、おいしかったおかずを作ってみようと思心に決めました。

「感謝して、いただきまーす。」